一般競争入札公告

◎道防衛局

☆申請期間＝27年1月13日まで
☆開札日＝27年2月3日
【千歳整備場新設等建築】
▼工事概要
▽工事場所＝千歳市
▽工事内容＝整備場新設RC造平屋一六〇平方㍍、試験室新設RC造平屋四〇平方㍍、ポンプ室新設RC造平屋一〇平方㍍
▽工期＝28年2月29日まで
▽総合評価・施工能力評価型
▼入札参加要件
▽建築の総合審査数値七六〇点以上九九〇点未満
▽元請実績＝十一年度以降、RC造またはSRC造で一六〇平方㍍以上の新設建築
【札幌予備発室新設建築】
▼工事概要
▽工事場所＝札幌市
▽工事内容＝予備発室新設RC造平屋四〇平方㍍
▽工期＝27年11月30日まで
▽総合評価・施工能力評価型
▼入札参加要件
▽建築の総合審査数値八三〇点未満
▽元請実績＝十一年度以降、RC造またはSRC造で四〇平方㍍以上の新設建築
☆開札日＝27年2月4日
【早来ほか燃料施設新設等機械】
▼工事概要
▽工事場所＝安平町、千歳市
▽工事内容
・早来分屯地＝燃料施設新設機械＝燃料配管設備。消火ポンプ室改修コンクリートブロック造平屋三〇平方㍍＝機械
・千歳基地＝試験室新設RC造平屋四〇平方㍍機械。整備場新設RC造平屋一六〇平方㍍機械＝スリーブ。ポンプ室新設RC造平屋一〇平方㍍機械＝スリーブ
▽工期＝28年12月15日まで
▽総合評価・施工能力評価型
▼入札参加要件
▽管の総合審査数値八七〇点以上
▽元請実績＝十一年度以降、油配管
【早来ほか燃料施設新設等電気その他】
▼工事概要
▽工事場所＝安平町、千歳市
▽工事内容
・早来分屯地＝燃料施設新設電気・通信＝進入隧道および カルバート電灯動力設備、ドラムヤード雷保護設備二ヵ所、構内配電線路、構内通信線路、外灯設備。消火ポンプ室改修コンクリートブロック造平屋三〇平方㍍＝発電機設置、付帯電気
・千歳基地＝試験室新設RC造平屋四〇平方㍍電気・通信。整備場新設RC造平屋一六〇平方㍍電気・通信＝配管・スリーブ。ポンプ室新設RC造平屋一〇平方㍍電気・通信＝配管・スリーブ
▽工期＝28年12月15日まで
▽総合評価・施工能力評価型
▼入札参加要件
▽電気の総合審査数値八七〇点以上
▽元請実績＝十一年度以降、六〇〇ボルトをこえる高圧以上の構内外線

◎札幌気象台

☆申請期間＝27年1月15日まで
☆開札日＝27年1月19日
【紋別航空気象観測所空調整備ほか改修】
▼工事概要
▽工事場所＝紋別市
▽工事内容＝空調機新設、可動間仕切壁新設
▽工期＝27年3月31日まで
▼入札参加要件
▽管A・B

◎留萌建管

☆申請期間＝27年1月13日まで
☆開札日＝27年2月18日
【築別炭鉱築別停線構造改良道債】
▼工事概要
▽工事場所＝羽幌町
▽工事内容＝八〇〇×六・五㍍オーバーレイ＝表層再生細粒度ギャップアス平均三㌢五、二〇〇平方㍍、レベリング層再生粗粒度アス平均二㌢五、二〇〇平方㍍、区画線一式
▽工期＝27年7月21日まで
▼入札参加要件
▽舗装A・Bの単体。留萌・宗谷・上川・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、道路土工で表層二、六〇〇平方㍍以上の舗装（機械舗設）
【有明天塩有明停線構造改良道債】
▼工事概要
▽工事場所＝初山別村
▽工事内容＝七五〇×七㍍オーバーレイ＝表層再生細粒度ギャップアス平均三㌢五、二五〇平方㍍、レベリング層再生粗粒度アス平均二㌢五、二五〇平方㍍、区画線一式
▽工期＝27年7月21日まで
▼入札参加要件
▽舗装A・Bの単体。留萌・宗谷・上川・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、道路土工で表層二、六〇〇平方㍍以上の舗装（機械舗設）
【苫前小平線構造改良道債】
▼工事概要
▽工事場所＝苫前町
▽工事内容＝八〇〇×六・五㍍オーバーレイ＝表層再生細粒度ギャップアス平均三㌢五、二〇〇平方㍍、レベリング層再生粗粒度アス平均二㌢五、二〇〇平方㍍、区画線一式
▽工期＝27年7月21日まで
▼入札参加要件
▽舗装A・Bの単体。留萌・宗谷・上川・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、道路土工で表層二、六〇〇平方㍍以上の舗装（機械舗設）
【遠別中川線構造改良道債】
▼工事概要
▽工事場所＝遠別町
▽工事内容＝四六〇×七・三㍍オーバーレイ＝表層再生細粒度ギャップアス平均三㌢三、九一〇平方㍍、レベリング層再生粗粒度アス平均三㌢一、〇六〇平方㍍、区画線一式
▽工期＝27年7月10日まで
▼入札参加要件
▽舗装A・Bの単体。留萌・宗谷・上川・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、道路土工で表層一、〇〇〇平方㍍以上の舗装（機械舗設）
▼入札参加要件
▽舗装A・Bの単体。留萌・宗谷・上川・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、道路土工で表層二、〇〇〇平方㍍以上の舗装（機械舗設）
【六志内西雄信内線構造改良道債】
▼工事概要
▽工事場所＝天塩町
▽工事内容＝三〇〇×七㍍オーバーレイ＝表層ひび割れ抑制舗装平均三㌢二、一〇〇平方㍍、レベリング層再生粗粒度アス平均三㌢二、一〇〇平方㍍、区画線一式
▽工期＝27年7月10日まで
▼入札参加要件
▽舗装A・Bの単体。留萌・宗谷・上川・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、道路土工で表層一、〇〇〇平方㍍以上の舗装（機械舗設）

確かな安全と安心のために……
株式会社トーショウビルサービス
公安委員会認定第23号　警備業協会加盟
営業品目　◆機械警備　◆交通誘導警備　◆施設警備
本　社／函館市中道１丁目１番12号 TEL(0138)30-3000 FAX32-5555
支　店／札幌市中央区北1条西9丁目3 27 TEL(011)271-5656 FAX271-4433
岩見沢営業所／岩見沢市4条西4丁目10-12 創生会館1F TEL(0126)24-0909 FAX24-0919
八戸営業所／青森県八戸市南類家3丁目6番19号 TEL(0178)46-4700 FAX46-4800
埼玉営業所／埼玉県和光市丸山台2丁目4番21号 TEL(048)461-9019 FAX461-9953

◎釧路建管

■委託■
☆申請期間＝1月13日まで
☆開札日＝2月12日
【春採川防潮水門点検】
▼業務概要
▽業務場所＝釧路市
▽業務内容＝防潮水門点検年点検一式
▽履行期限＝27年3月30日
▼入札参加要件
▽機械器具設置の単体
▽履行実績＝十一年度以降、道内において水門・樋門などの機械設備の設置または点検または保守整備

◎渡島教育局

☆申請期間＝27年1月16日まで
☆開札日＝27年1月26日
【函館水産高格技場天井ネット設置】
▼工事概要
▽工事場所＝北斗市
▽工事内容＝一式
▽工期＝27年3月3日まで
▼入札参加要件
▽建築Bの単体。管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、同種・同規模工事

理研興業が最新の防雪技術紹介
最先端技術に感嘆の声
東欧・アジアの職員が視察研修

防雪柵の国内トップメーカーである理研興業㈱（小樽、柴尾耕三社長）はこのほど、東ヨーロッパ・中央アジア諸国の中央官庁職員を対象に、防雪柵の新技術プレゼンテーションや風洞実験を披露。日本最先端の防雪技術を紹介した。

◇

JICA（独立行政法人国際協力機構）主催研修の一環で、インフラ整備が援助重点分野として挙げられている各国に向けて、積雪寒冷地を含む広大な土地における道路維持のノウハウを学んでもらおうというもの。

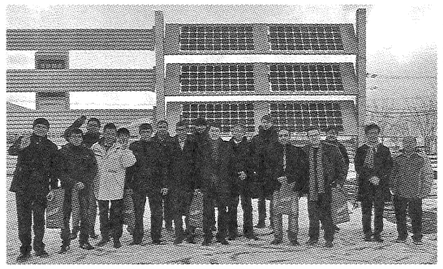
中でも、寒冷地特有の道路維持に関わる課題と対応を理解してもらうため、一般社団法人北海道開発技術センターの依頼を受け、同社が協力する形で本視察が実現した。

研修にはアゼルバイジャン、キルギス、モルドバ、タジキスタン、ウクライナから、交通省・運輸情報省・道路交通インフラ省等の道路に精通する立場の職員十二人が参加。同社が誇る現地状況の再現が可能な風洞実験施設で防雪柵の有効性を検証したほか、実物大防雪柵の見学や、最新の防雪技術を紹介するプレゼンテーションを行った。

プレゼンテーションで紹介したのは三技術。融雪機能付吹払柵（両面受光型太陽電池とファブリックヒーターを使用して下部空間の積雪を溶かし自らの性能を維持する吹払型防雪柵）、高輝度SMDを用いた防雪柵による視線誘導方法（高輝度SMDを用いたライン状に発光する光の連続照明による視線誘導方法）、高性能防雪柵など、国内最先端の防雪技術に各国代表から感嘆の声が上がっていた。

コスト等についての踏み込んだ質問もあり「東ヨーロッパ・中央アジアにおける防雪対策の必要性がひしひしと伝わってきた」という。

柴尾社長は「今後もロシアやヨーロッパ、アジアなど、他国から来客を招いての風洞実験視察を積極的に行い、日本の最先端の防雪技術を海外へ発信していきたい」と話している。


防雪柵の前で記念撮影する参加者たち

きょう午後3時 通行可能に
本別士幌線長命橋 帯広建管

【帯広発】橋脚の河床洗掘のため通行止めとなっていた帯広建管所管の道道本別士幌線長命橋が、きょう二十六日午後三時から通行可能となる。

九月中旬に行われた橋梁点検の際に、河床洗掘が発見されたため、九月十七日以降通行止めとなっていた。建管では、応急復旧として仮道・仮橋の設置を進めていた。

同橋の復旧については現在、本橋の実施設計を進めており、新年度の工事を予定している。

札幌東労基署が無災害表彰伝達式
オリエンタル建設に授与
さらなる活躍に期待

札幌東労基署は二十五日、同署で建設事業無災害表彰状伝達式を執り行った＝写真＝。今回表彰の対象となったのは、オリエンタル建設㈱が施工した「公住下野幌団地建替H－2号棟A工区新築」。渡辺和樹署長が同社の立川和英現場所長に表彰状を手渡し、安全管理の取組をたたえるとともに、今後の活躍に期待を寄せた。

同工事は、RC造十四階七千九百五十七平方㍍の公営住宅を新築するもの。延べ労働者数は二万二千四百四十八人で、二十四年十月一日から二十六年十月三十一日までの工期を無災害で終えた。

立川現場所長は、作業員に現場での危険性を繰り返し説明したことが無災害につながったと話す。「安全が当たり前ではない。どうやって安全にやっていくかを考えることが大事」と説き、過去の事故例などをあげて現場の危険性を示すなど、作業員の意識レベル向上を図った。

伝達式では、渡辺署長が表彰状を手交。表彰状を受け取った立川現場所長は「これからも作業員が快適に作業できるよう現場環境を整えていく」と決意を新たにしていた。